



回答率：協議会委員77%、保護者43%、児童87%、教職員100%

学校教育目標

1	教育方針・目標の理解	2	意欲的な学校生活	3	教師の連携協力
学校は、児童や保護者に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いませんか。		子供は、充実した学校生活を送っていると思いませんか。		全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いませんか。	
<考察> ※「4 そう思う」と「3 どちらかといえばそう思う」の回答は「肯定的な回答」と表記。 ※（ ）内は昨年度との比較（向上・維持は青字、低下は赤字） 【1】肯定的な回答率が、 <b>学校運営協議会委員</b> （以下：協議会委員） <b>90%</b> （-1）、保護者 <b>95%</b> （+7）、児童 <b>90%</b> （-4）、教職員 <b>100%</b> （±0）であった。保護者の肯定率が向上したことは、学校ホームページの毎日の更新による閲覧数の増加や、学校・学級便りや保健便り等の発信など、常にこの学校教育目標を意識した活動を促してきた成果と考える。この学校教育目標は全教育活動の基盤であり、その周知はとても重要なことと考え、これまでも様々な工夫を講じてきたので、今後も粘り強く継続していきたい。 【2】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員90%</b> （-2）、保護者 <b>95%</b> （+2）、児童 <b>91%</b> （-2）、教職員 <b>100%</b> （±0）であった。特に保護者の肯定率が高かったことは、学校総体で取り組んでいる児童の自己肯定感の向上に向けた取組が児童の成長につながり、保護者の充実度に繋がったものと考えられる。 【3】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員90%</b> （+15）、保護者 <b>93%</b> （+5）、教職員 <b>100%</b> （±0）であった。協議会委員の肯定率が大きく向上したのは、協議会委員と教職員共同の研修会を行ったり、学校行事や授業などの参観をしていただいたりして、学校の取組に対する理解が進んだことだと考える。					

教科指導について

4	授業づくりの工夫	5	意欲的な学習態度	<考察> 【4】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員89%</b> （-3）、保護者 <b>97%</b> （+4）、児童 <b>88%</b> （-2）、教職員 <b>100%</b> （+6）であった。特に保護者の肯定感が向上していることは、授業内容や指導方法の工夫が家庭にも伝わり、教育活動への理解と信頼が深まっていることを示している。ICTの活用や、子どもたちの主体的な学びを促す授業展開など、教職員の創意工夫が成果として表れていると考えられる。 【5】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員90%</b> （-2）、保護者 <b>89%</b> （+2）、児童 <b>87%</b> （-4）、教職員 <b>100%</b> （+6）であった。特に保護者の肯定率が向上したことは、家庭においても子どもたちの学習に対する前向きな姿勢が実感されていることを示しており、学校での学習活動が家庭にも良い影響を与えていることがうかがえる。また、教職員の肯定率が高いことから、日々の授業や声かけ、学習環境の工夫が児童の意欲を高める要因となっている。
学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いませんか。		子供たちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いませんか。		

道徳教育 心の教育について

6	道徳、心の教育の充実	7	あいさつ、礼儀の励行	<考察> 【6】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員90%</b> （+15）、保護者 <b>90%</b> （-1）、児童 <b>89%</b> （-2）、教職員 <b>100%</b> （±0）であった。地域からの道徳・心の教育に対する評価が高まっていることがうかがえる。今後は、児童がより実感をもって心の成長を感じられるよう、体験的な学習や対話活動の充実を図るとともに、家庭や地域との連携を深めていくことが重要である。 【7】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員44%</b> （-10）、保護者 <b>86%</b> （+5）、児童 <b>88%</b> （+7）、教職員 <b>93%</b> （+5）であった。肯定的な回答率が、保護者・児童・教職員といずれも前年度より向上しており、あいさつの励行に関する取組が一定の成果を上げていることが分かる。一方で、地域におけるあいさつの様子に課題がある。今後は、地域と連携した取組をさらに推進し、学校内外でのあいさつの定着を図っていく必要がある。
学校は、思いやりなどを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いませんか。		子供たちは、あいさつがきちんとできていると思いませんか。		

人権同和教育について

8	一人一人の児童の尊重	9	友達への思いやり
学校は、一人一人の子供を大切にしている指導や対応ができていると思いませんか。		子供たちは、友達となかよくできていると思いませんか。	
<考察> 【8】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員90%</b> （-2）、保護者 <b>87%</b> （+10）、児童 <b>92%</b> （-3）、教職員 <b>100%</b> （±0）であった。保護者の肯定率が大きく向上していることから、学校が一人一人の児童を大切にしようとする姿勢が、家庭にも伝わり始めていることがうかがえる。児童の肯定率も高水準を維持しており、自分が認められているという実感を持っていることが分かる。今後は、さらに多様な個性や背景を尊重しながら、児童が安心して自分らしく過ごせる環境づくりを継続していくことが求められる。 【9】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員90%</b> （+5）、保護者 <b>95%</b> （±0）、児童 <b>94%</b> （-2）、教職員 <b>100%</b> （±0）であった。肯定的な回答率が全体的に高く、地域からの評価も高まっている。児童の肯定率にわずかな減少が見られるものの、引き続き高い水準を保っており、日常の生活や学習の中で思いやりの心が育まれていることが分かる。今後は、互いを認め合い支え合う関係づくりを大切にしながら、道徳や学級活動を通じて心の成長を支援していきたい。			

学校行事について

10	学校行事等の工夫
学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いませんか。	
<考察> 【10】肯定的な回答率が、 <b>協議会委員70%</b> （-7）、保護者 <b>90%</b> （+5）、児童 <b>91%</b> （-3）、教職員 <b>100%</b> （±0）であった。保護者の評価が向上していることは、行事を通じて子どもたちの成長や笑顔が伝わっている証といえる。一方で、協議会委員の肯定率がやや低下していることから、地域との連携や情報発信の在り方について、さらなる工夫が求められる。今後は、地域の特色を生かした行事の企画や、地域住民の参画を促す取組を進め、より開かれた学校づくりを目指していきたい。	

生徒指導 教育相談について

<p><b>11 児童理解</b></p> <p>学校は、子供の良さを見つけ、子供のことを理解しようとしていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p><b>12 規範意識</b></p> <p>子供たちは、規則やマナーを守っていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p><b>13 いじめや問題への対応</b></p> <p>学校は、いじめや問題行動等があったとき、すぐに対応していると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p><b>&lt;考察&gt;</b></p> <p>【11】肯定的な回答率が、協議会委員90% (47)、保護者93% (49)、児童92% (42)、教職員100% (46)であった。肯定的な回答率がすべての立場で上昇しており、児童一人ひとりの個性や思いに寄り添った関わりが、家庭や学校内でしっかりと実感されていることがうかがえる。今後も、日々の対話や観察を通して児童理解をさらに深め、安心して学べる環境づくりを継続していきたい。</p> <p>【12】肯定的な回答率が、協議会委員80% (-3)、保護者87% (-7)、児童94% (44)、教職員92% (-8)であった。児童の肯定的な回答率が高いが、他の立場からの評価にやや低下が見られることから、学校内外で一貫した指導を行うとともに、家庭や地域と連携しながら社会の一員としての自覚を育てる取組をさらに充実させていきたい。</p> <p>【13】肯定的な回答率が、協議会委員70% (412)、保護者89% (49)、児童92% (-3)、教職員100% (±0)であった。児童の肯定的な回答率が若干低くしており、下児童自身が感じる安心感や信頼感にわずかながら変化があった可能性がある。今後は、児童の声により一層耳を傾け、日常的な対話や相談体制の充実を図ることで、児童が安心して学校生活を送れる環境づくりをさらに推進していきたい。</p>		

健康教育 安全について

<p><b>14 安全と事故防止</b></p> <p>学校は、子供の安全と事故防止に努めていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p><b>15 体力向上</b></p> <p>子供たちは、進んでスポーツなどを行っていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p><b>&lt;考察&gt;</b></p> <p>【14】肯定的な回答率が、協議会委員90% (417)、保護者95% (49)、児童96% (41)、教職員100% (±0)であった。特に協議会委員の評価が大きく向上している点から、学校の安全対策や事故防止への取り組みが、地域社会にも広く認知され、信頼を得ていることがうかがえる。また、保護者の評価も高く、学校が家庭と連携しながら安全な環境づくりに努めている成果が表れていると考えられる。</p> <p>【15】肯定的な回答率が、協議会委員80% (43)、保護者70% (48)、児童76% (41)、教職員100% (45)であった。保護者や児童の評価は他の項目と比べてやや低めであるため、今後は運動の機会や内容の工夫、個々の体力に応じた支援を通じて、より多くの児童が前向きに取り組める環境づくりが求められる。</p>
--	--	--

学校環境について

<p><b>16 環境の整理・美化</b></p> <p>学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p><b>17 施設・設備の安全管理</b></p> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p><b>&lt;考察&gt;</b></p> <p>【16】肯定的な回答率が、協議会委員90% (413)、保護者95% (±0)、児童93% (±0)、教職員100% (±0)であった。学校の環境整備・美化に関する取組が、関係者全体から高く評価されていることがわかる。特に、協議会委員の肯定的な回答率が13ポイント上昇していることは、地域の目から見ても学校環境がより良くなっていると感じられている証といえる。</p> <p>【17】肯定的な回答率が、協議会委員90% (45)、保護者94% (-1)、児童95% (44)、教職員100% (±0)であった。児童の肯定率が上昇していることから、子どもたちが自身が学校の施設に対して安心感を持っていることがわかる。一方で、保護者の評価がわずかに減少している点については、情報発信の方法や保護者への説明の仕方を見直すことで、さらなる信頼の向上が期待できる。</p>
---	--	--

情報の公開・発信について

<p><b>18 学校の情報発信</b></p> <p>学校の情報は、各種便りやホームページ等で、十分に発信されていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p><b>19 教育活動への参加</b></p> <p>学校が公開している教育活動（行事、授業参観等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p><b>&lt;考察&gt;</b></p> <p>【18】肯定的な回答率が、協議会委員90% (45)、保護者88% (±0)、教職員100% (±0)であった。全体的に高い評価が得られていることがわかる。特に協議会委員の肯定的な回答率が5ポイント上昇している点は、地域や関係者に対する情報提供の取組が着実に伝わっていることを示している。保護者の評価は88%と高水準を維持しており、学校からの連絡や広報活動が一定の信頼を得ていることがうかがえる。ただし、前年と変化がなかったことから、今後はよりタイムリーでわかりやすい情報発信や、双方向のコミュニケーションの工夫が求められる。</p> <p>【19】肯定的な回答率が、協議会委員90% (47)、保護者95% (47)、教職員100% (±0)であった。学校の教育活動に対する関係者の参加意識や協力体制が、年々高まっていることが明らかになった。さらに、学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支える環境づくりをさらに推進していくことが期待される。</p>	

家庭・地域の連携について

<p><b>20 家庭や地域との連携協力</b></p> <p>学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p><b>&lt;考察&gt;</b></p> <p>【20】肯定的な回答率が、協議会委員80% (426)、保護者88% (43)、教職員100% (46)であった。学校と家庭・地域との連携がより深まり、信頼関係が強化されていることがうかがえ、地域からの学校への期待や関心が高まっていることが読み取れる。保護者の評価も高く、学校行事や日常のやりとりを通して、家庭とのつながりが着実に築かれていることがわかる。今後は地域の特性や保護者のニーズを踏まえた柔軟な連携のあり方を模索したい。</p>

- 【あいさつ、規範意識】 特別の教科道徳の授業とそれに伴う体験活動の推進、地域総ぐるみでの挨拶や規範意識向上の取組
- 【体力向上】 体育科授業の質の向上や屋休みの外遊びの奨励等、地域総ぐるみでの運動の推進